

脳神経外科

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因、病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。

【到達目標】

- 1) 患者および家族と良好な信頼関係を築くことができる。
- 2) 医療チームのなかでの自分の役割を理解しチームの一員として仕事をこなすことができる。
- 3) 神経学的所見、身体診察から必要かつ重要な情報を取捨選択することができる。
- 4) 鑑別診断も含め、診断結果から以後の診療計画を立てることができる。
- 5) 脳神経外科で行われている検査の概要、有用性、長所、短所、合併症などの危険性を理解し説明できる。
- 6) 収集した情報をもとに、問題志向型診療記録を作成できる。
- 7) カンファレンスで神経身体所見、検査結果、画像所見、診断、鑑別診断、治療方針を適切にプレゼンテーションすることができる。
- 8) 診療に必要な知識・情報が記載してある論文を検索収集することができる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日朝にオリエンテーションを行い、ポートフォリオを配布するので、実習中に学んだこと、体験したことを実習中毎日漏らさず記入すること。また、実習中に調べた知識や検索した文献なども、すべて綴じ込むこと。
- 2) 第1週の月曜日に担当症例および担当指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、担当指導医と行動を共にすること。担当指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一担当指導医に指示を仰ぎ従うこと。

- 3) 担当指導医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ(電子カルテ)とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで記載すること。
- 4) モーニングカンファレンスで、適宜主治医の代わりに症例提示を行うこと。そのために、担当指導医のもと、既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、原稿準備など事前にしておくこと。

【週間スケジュール】

	行事	担当	場所	時間
月	症例カンファレンス 手術見学・参加	富永主任部長 担当指導医	南2病棟 手術室	8:30～8:45 8:45～
火	症例カンファレンス 外来見学	富永主任部長 担当指導医	南2病棟	8:30～:45 9:00～
水	抄読会 脳血管撮影 脳血管内治療・手術見学	富永主任部長 担当指導医	医局 血管撮影室 手術室	8:15～8:45 9:00～ 13:30～
木	症例カンファレンス 外来見学・病棟実習	富永主任部長 担当指導医	南2病棟	8:30～8:45 9:00～
金	症例カンファレンス 手術見学・参加	富永主任部長 担当指導医	南2病棟 手術室	8:30～8:45 8:45～

【評価】

評価項目	配点
ポートフォリオの内容	20
患者提示の出来具合	20
担当医による学生の行動内容の評価	30
指導医による学生の行動内容の評価	30